

## [国民投票／住民投票] 情報室 公開講座

# 「解釈改憲・大人の知恵」批判

——集团的自衛権の行使容認問題を考える

自民党・安倍政権が目論み、まもなく実行に移そうとしている現行憲法下での「集团的自衛権の行使容認」。その問題点は主に2つ。

- [1] この解釈変更＝容認によって、憲法9条を有しながら、自国が攻められてもいないのに、戦争をする国・できる国になる。
- [2] 「容認」は解釈改憲の極みであり、改憲の是非は主権者、国民にしか決められないという憲法の定めを侵す政府の越権行為で違憲。

\* 今回の講座では、このうち[2]の問題に集中して解説します。

- ◆ 曖昧な「軍隊保持・交戦権」
- ◆ 半世紀の間に条文と現実との乖離が拡大
- ◆ 護憲、改憲両陣営が「9条・国民投票」での決着を回避
  - ・ 内田樹、加藤典洋ら「解釈改憲-大人の知恵」派
  - ・ 田村理、知花昌一ら「大人の知恵」反対派
- ◆ 解釈改憲の歴史
  - ・ 憲法9条の本旨。吉田茂、野坂参三らの国会発言
  - ・ 連合国総司令部と極東委員会のせめぎ合い
  - ・ 極東委員会での憲法、法改革に関する議論。議事録から読みとる
  - ・ 朝鮮戦争を機にマッカーサーの指示で「解釈変更」が始まる
  - ・ 激しい国会論戦。自衛隊、日米安保は違憲という左翼、リベラルの主張
  - ・ 左翼陣営の変節。「解釈改憲、大人の知恵」が蔓延る
  - ・ 安倍-石破ラインによる究極の解釈改憲画策
- ◆ 集团的自衛を行使するか否かは改憲事項。
  - ・ 国民投票での主権者の承認を得て行なうのが筋で解釈改憲は許されない
  - ・ この問題を国民投票にかけるならどんな設問、方法になるのか

【日時／会場】

☆ 9/15(日) 13:00～15:30 「情報室」 玉造事務所 (大阪市中央区玉造1丁目14-14 ※[地図](#))

● 受講料 1800円 (資料、テキスト『「憲法9条」国民投票』(集英社)代込み) ※定員15人

※テキスト持参の方は1200円

講師：今井 一 (※[プロフィール](#))

受講申し込みは開講日の3日前までにメールかFAXで下記あてをお願いします。

FAX：06-6751-7345 E-mail：[ref@clock.ocn.ne.jp](mailto:ref@clock.ocn.ne.jp) URL：<http://ref-info.net/>